

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

△ 使用上の注意

☒ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) ぜんそくを起こしたことがある人
- (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (4) 15歳未満の小児

2. 次の部位には使用しないこと

- (1) 目の周囲、粘膜等
- (2) 湿疹、かぶれ、傷口
- (3) 化膿している患部

3. 長期連用しないこと

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、ヒリヒリ感、かぶれ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果
肩こりに伴う肩の痛み、筋肉痛、関節痛、腰痛、腱鞘炎(手・手首・足首の痛みと腫れ)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

用法・用量

1日2～4回、適量を患部に塗布してください。
(用法・用量に関連する注意)

- (1) 定められた用法・用量を守ること
- (2) 目に入らないよう注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けること
- (3) 外用にのみ使用すること
- (4) 薬剤塗布後の患部をラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないこと
- (5) 皮膚の特に弱い方は、同じ所に続けて塗布しないこと
- (6) 同じ部位に他の外用剤との併用は避けること
- (7) 使用後は手を洗うこと

成分・分量(100mL中)

成分	分量
フェルピナク	3.0g
1-メントール	6.0g
クロロフェニラミンマレイン酸塩	0.1g

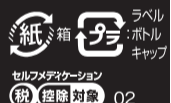
添加物:ジブチルヒドロキシトルエン、ベンジルアルコール、マクロゴール、トリエタノールアミン、ハアセチルシロキサン、エタノール 含有

販売名:エスターFB液

外用鎮痛消炎薬

内容量
50mL

第2類医薬品



つらい 第2類医薬品 痛みには浸透 フェルピナク



【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所にキャップをしっかりと閉めて保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり、品質が変わることがある)
- (4) 火気に近づけないこと
- (5) 火の中に投じないこと
- (6) 本剤のついた手で、目等の粘膜に触れないこと
- (7) メガネ、時計、アクセサリー等の金属類、繊維の衣類、プラスチック類、床や家具等の塗装面等に付着すると変質又は変色することがあるので、付着しないように注意すること
- (8) 本剤が衣類や寝具等に付着し、汚れた場合にはなるべく早く水か洗剤で洗い落とすこと
- (9) 使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく早く使用すること

お客様ご相談窓口

株式会社富士薬品
電話 (048) 648-1118
受付時間 9:00～17:30
(土・日・祝日を除く)

火気厳禁

第二石油類 危険等級III 水溶性
エタノール含有物 50mL

副作用被害救済制度

電話: 0120-149-931

発売元

株式会社富士薬品

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地

製造販売元

東和製薬株式会社

和歌山県紀の川市貴志川町丸穂1229番地